

各局の自律改革について

| | | | | | | | | |
|---|----|------|---|-------|--------|----|---|-------|
| 財 | | 務 | 局 | … P 1 | | | | |
| 利 | ンビ | ック・ハ | ラ | ンビ | ック | 準備 | 局 | … P 9 |
| 東 | 京 | 消 | 防 | 庁 | … P 17 | | | |
| 交 | | 通 | | 局 | … P 25 | | | |
| 水 | | 道 | | 局 | … P 32 | | | |
| 下 | 水 | 道 | | 局 | … P 41 | | | |

財 務 局

財務局における自律改革の取組<状況報告>

局の概要と最近の主要な改革

《都庁各局の施策・改革を、予算・制度・技術などの側面からサポート》

【入札・契約】

⇒入札契約制度改革

経理部

【財政運営】

⇒予算編成過程の見直し

主計部

財産運用部

【財産管理】

⇒ 都用地活用推進本部

建築保全部

【営繕技術】

⇒2020大会施設の整備費削減

財務局における自律改革の取組<状況報告>

主な取組 「見える化」に向けた情報発信方法の一斉点検

改革の 視点

ホームページ・業務システム、印刷物による情報の発信が、「都民ファースト」「情報公開」の視点から見て、効果的で適切なものとなっているかを点検し、可能なものから速やかに改善

見やすい

デザイン、レイアウト、色づかい、文字サイズ

探しやすい

ホームページの構成、検索機能の使いやすさ

利用しやすい

サービス提供方法・時間帯、スマホ対応

分かりやすい

「伝える」ことを意識した説明ができていますか？

知りたい

都民の興味・関心に応えているか？

各部WG における検討

・事業者アンケート ・窓口での都民からの意見聴取 ・他縣市との比較
・若手職員からのアイデア出し ・若手と管理監督者の意見交換 など

準備が整ったものから、速やかに実施

局改革本部

適宜、進捗状況の調査又は報告・相談を受け付け、改革の方向性を確認

財務局における自律改革の取組<状況報告>

取組事例(1) 電子調達システム①

改革の 視点

- ① 利用者(事業者・職員)にとって使いやすいシステムになっているか?
- ② 提供されている情報に、誰もが支障なくアクセスできるシステムになっているか?

利用者の声(事業者アンケートを実施)

The screenshot shows the homepage of the Tokyo Metropolitan Government's Electronic Tendering System. The page features a green header with the Tokyo Metropolitan Government logo and the title '東京都電子調達システム'. A left sidebar contains a '業務メニュー' (Business Menu) with items like '電子調達システム(TOP)', '入札情報サービス Tender information service', '電子入札', and '資格審査'. The main content area includes a '新着情報' (New Information) section with several news items dated from 2019. A right sidebar contains '一般情報' (General Information) with links to '東京都電子調達システム利用規約' and '入札参加資格の申請、電子入札参加のための事前準備'. Three blue callout bubbles contain user feedback: one on the left about mobile access, one on the right about short usage time, and one at the bottom center about small text and colors.

東京都

東京都電子調達システム

入札の情報を、
スマホやタブレット
で見たい

利用時間が短く、
外回りから帰社すると、
入札に間に合わない

サイトの文字が小さく、
色使いも見にくい

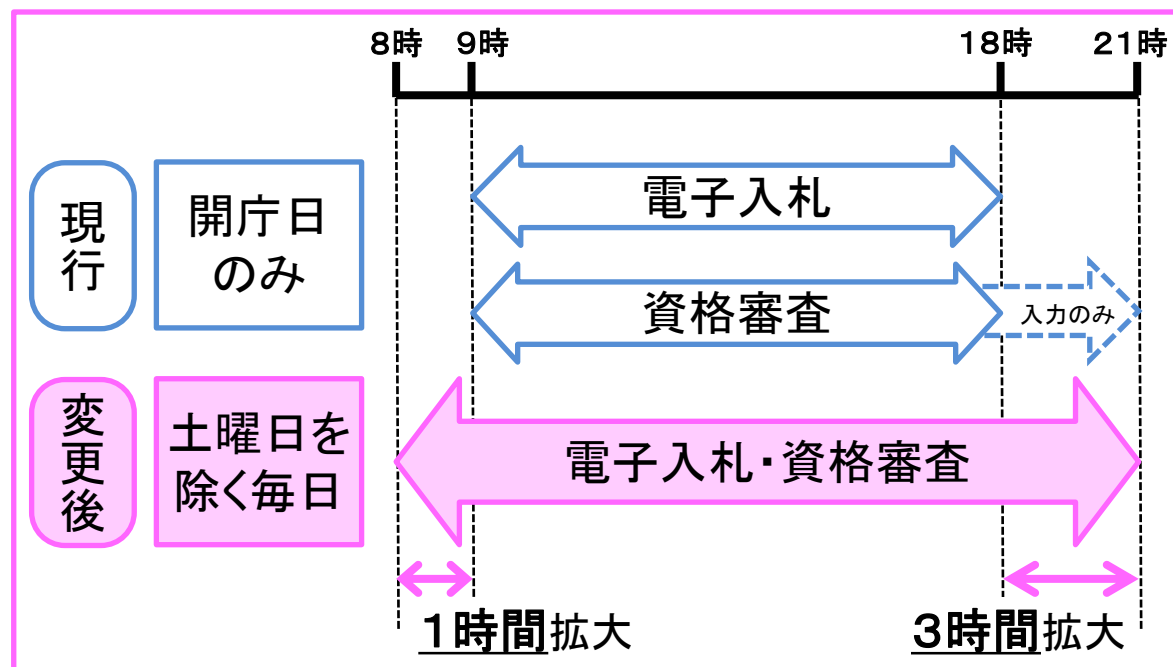
全体的に見づらく、
欲しい情報が探しにくい

財務局における自律改革の取組<状況報告>

取組事例(1) 電子調達システム②

Step1 速やかに実施

入札書等の提出や資格審査申請が可能な時間帯を拡大



《参考》他自治体の状況

- ・早朝、夜間も利用できる自治体が多い。
- ・閉庁日に稼働している自治体も存在する。

Step2 29年度以降、順次改善

- 1) トップページは、見やすく、情報を探しやすいデザインにリニューアル
- 2) スマホ・タブレットにも対応(トップページ・入札情報サービス)
- 3) 資格審査、電子入札ページのアクセシビリティ向上

財務局における自律改革の取組<状況報告>


取組事例(2) 分かりやすい予算関係資料の作成

改革の 視点

- ① 東京都の財政状況を都民に対して、積極的に公表できているか？
- ② 公表資料は都民にとってわかりやすい説明資料になっているか？

改善結果

図表やイラストを用いた分かりやすい予算発表資料を作成



平成29年度
(2017年度)

東京都予算案の概要

平成29年2月
東京都

カラー化し、
図表・イラストで解説

主要な施策 - 「新しい
東京を取り巻く社会経済情勢の
づく実効性のある施策を積極的に
な進捗を切り進めています。

1 暮らしのいきいきと活躍(東京)
子供を安心して暮らす
新卒の就職支援 1,630
歳をこえて活躍の場
働きやすい社会の実現 587
子育て支援
子育てしやすい社会
実現 239
子育て支援
働きやすい社会の実現 155
子育て支援
働きやすい社会の実現 116
誰もが活躍できる
社会の実現
未来を担う人材の育成
2 日本の成長をけん
引く
国際競争力・経済力の
実現
技術力・人材力の
実現
3 交通・物流
ネットワークの充実
4 スマート・エシエン
トなまちの実現
5 防災・危機管理
6 都市環境の整備
7 観光・文化振興
8 国際交流・国際
関係の強化
9 国土・空間
10 都市環境の整備
11 観光・文化振興
12 国際交流・国際
関係の強化
13 国土・空間
14 都市環境の整備
15 観光・文化振興
16 国際交流・国際
関係の強化
17 国土・空間
18 都市環境の整備
19 観光・文化振興
20 国際交流・国際
関係の強化
21 国土・空間
22 都市環境の整備
23 観光・文化振興
24 国際交流・国際
関係の強化
25 国土・空間
26 都市環境の整備
27 観光・文化振興
28 国際交流・国際
関係の強化
29 国土・空間
30 都市環境の整備
31 観光・文化振興
32 国際交流・国際
関係の強化
33 国土・空間
34 都市環境の整備
35 観光・文化振興
36 国際交流・国際
関係の強化
37 国土・空間
38 都市環境の整備
39 観光・文化振興
40 国際交流・国際
関係の強化
41 国土・空間
42 都市環境の整備
43 観光・文化振興
44 国際交流・国際
関係の強化
45 国土・空間
46 都市環境の整備
47 観光・文化振興
48 国際交流・国際
関係の強化
49 国土・空間
50 都市環境の整備
51 観光・文化振興
52 国際交流・国際
関係の強化
53 国土・空間
54 都市環境の整備
55 観光・文化振興
56 国際交流・国際
関係の強化
57 国土・空間
58 都市環境の整備
59 観光・文化振興
60 国際交流・国際
関係の強化
61 国土・空間
62 都市環境の整備
63 観光・文化振興
64 国際交流・国際
関係の強化
65 国土・空間
66 都市環境の整備
67 観光・文化振興
68 国際交流・国際
関係の強化
69 国土・空間
70 都市環境の整備
71 観光・文化振興
72 国際交流・国際
関係の強化
73 国土・空間
74 都市環境の整備
75 観光・文化振興
76 国際交流・国際
関係の強化
77 国土・空間
78 都市環境の整備
79 観光・文化振興
80 国際交流・国際
関係の強化
81 国土・空間
82 都市環境の整備
83 観光・文化振興
84 国際交流・国際
関係の強化
85 国土・空間
86 都市環境の整備
87 観光・文化振興
88 国際交流・国際
関係の強化
89 国土・空間
90 都市環境の整備
91 観光・文化振興
92 国際交流・国際
関係の強化
93 国土・空間
94 都市環境の整備
95 観光・文化振興
96 国際交流・国際
関係の強化
97 国土・空間
98 都市環境の整備
99 観光・文化振興
100 国際交流・国際
関係の強化



2017年度(平成29年度)
東京都予算案のあらまし
～「新しい東京」の実現に向けて～

メリハリをつけた予算
メリちゃん ハリーくん

2種類
ポケット版冊子
を新たに作成

2017年度(平成29年度)の
全会計
13.1兆円

メリハリ!

一方、歳入の増進を促進し、5兆642億円となりました
(前年度比29.1億円(0.6%)の減少)

歳入の増進を促進し、歳入総額となる382億円の歳入増進を立ち上げています
合計・公営企業会計を含めた全会計の予算総額は、13兆542億円です



Outline of
Tokyo's FY 2017
Budget Proposal
For the Achievement of a
"New Tokyo"

A "new look" (well-moderated) budget

メリちゃん ハリーくん

1兆円ってどのくらい?
ウェーデンの歳入予算
9,724億スウェーデンクローナ ¥ 12兆4,759億円
国家予算を超える規模

部の会計制度
基本的な行政サービスを提供する



知っているかな?
みんなの暮らしと東京都
～東京都のお金の使いみち～

の「まち」は
っているのかな?

の回りにあるものは、
いるのか考えてみましょう

ハイやママが働いている
お返しはだれがったのかな?

道路や信号機は
だれがったのかな?

遊園地はだれが
つったのかな?

「予算案のあらまし」は英語版も

財務局における自律改革の取組<状況報告>

取組事例(3) 都有財産に関する情報提供と都民サービスの改善

改革の 視点

- ① 都有財産の情報は分かりやすく、また効果的に提供できているか？
- ② 都民・事業者からの問合せ・相談に、より適切かつ迅速に対応するには？

財産検索機能の追加

オープンデータの提供に加え、簡単で便利な検索機能を追加

東京都の公有財産

平成27年2月末現在の東京都の公有財産
東京都の所有している財産は、公有財産、物産、債権、基金の4種類に分けられます。このうち、公有財産とは、土地、建物などの、工作物、船舶、航空機、地上権、特許権、株式、出資による権利、不動産の信託の受益権などの財産をいいます。これを、学校、公園、庁舎などの一般財産、病院、中央卸売市場など地方公営企業法(昭和27年法律第92号)の部局等事業用財産及び交通事業、中継事業、下水道事業等と同じ用途の全部事業用財産と区分すると、次のようになります。

| 財産種類 | 一般財産 | 一部適用事業用財産 | 全部適用事業用財産 | |
|-------------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| | 数量 | 価格+円 | 数量 | |
| 土地 | 88,645 (円) | 5,883,906,157 | 14,027 (円) | 1,553,825,573 |
| 建物 | 27,631 (円) | 3,553,368,678 | 1,901 (円) | 316,680,831 |
| 工作物 | - | 940,004,772 | - | 481,504,782 |
| 立木 | - | 975,886 | - | 1,488 |
| 船舶 | 30隻 | 10,595,542 | 10隻 | 88,287 |
| 航空機 | 15機 | 7,582,473 | - | - |
| 浮橋・浮橋構・浮橋つな | - | 2,446,597 | - | - |
| 地上権等 | - | 6,323,331 | - | 249,922 |
| 特許権等 | - | 8,855,843 | - | 134,800 |
| 株式等 | - | 251,700,517 | - | 112,417,238 |
| 出資による権利 | - | 600,377,213 | - | 6,000 |
| 不動産の信託の受益権 | - | 174,709,927 | - | 50,218,190 |
| 計 | - | 11,240,847,148 | - | 2,515,127,961 |

上記財産に関する情報は、こちらをご覧ください。

| 区分 | 財産の種類 | ダウンロードファイル |
|----------|--------|---------------------------------|
| 都市整備局の財産 | 土地 | 都市整備局土地 CSV形式ファイル(約536M) |
| | 建物 | 都市整備局建物 CSV形式ファイル(約2.5M) |
| | その他の財産 | 都市整備局その他の財産 CSV形式ファイル(約368M) |
| 建設局の財産 | 土地 | 建設局土地 CSV形式ファイル(約405M) |
| | 建物 | 建設局建物 CSV形式ファイル(約258M) |
| | その他の財産 | 建設局その他の財産 CSV形式ファイル(約368M) |

検索機能を追加

所在地
区市町村・町名

面積
〇〇㎡~〇〇㎡

財産の種類
所管局など

絞込み結果を画面上に表示

| 台帳番号 | 台帳名 | 住所 | 所管局 | 資産種別 | 価格+円 | 確認 |
|------------|-----------|----------------|----------|------|------------|----|
| 0200032715 | 東京都議会議事堂 | 東京都新宿区西新宿2丁目5番 | 財務局建築保全部 | 行政財産 | 17,287.59 | 詳細 |
| 0200032716 | 東京都庁第二本庁舎 | 東京都新宿区西新宿2丁目9番 | 財務局建築保全部 | 行政財産 | 139,949.78 | 詳細 |
| 0200032717 | 東京都庁第一本庁舎 | 東京都新宿区西新宿2丁目8番 | 財務局建築保全部 | 行政財産 | 196,755.04 | 詳細 |

スマホでも利用可能

データファイルをダウンロードして、
利用者がパソコン等を用いて検索

財務局における自律改革の取組<状況報告>

取組事例(4) 公共施設整備の取組に関する情報発信

改革の視点

東京2020大会の競技施設整備に当たり、機運醸成やレガシー創出につながる取組を行っているか？

Step1 速やかに実施

財務局HP内に「工事進捗状況」を公表するページを開設し、第1弾として工事が先行している「オリンピックアクアティクスセンター(仮称)」の現場写真を公開

Step2 準備が整い次第、実施

- ① 他の競技会場施設も、工事着手後に順次、公開を開始
- ② 請負事業者のHPともリンク
- ③ 現場見学の対応も検討

東京都財務局
Bureau of Finance

東京都財務局のナビゲーションメニュー: 契約情報, 財政情報, 都債IR情報, 宝くじ情報, 公有財産情報, 東京都基準地価格, 建築工事と建物保全, 都庁舎のお知らせ

建築工事と建物保全

毎月、定点撮影した写真を公開

| 工事概要 | |
|-------------------------|--|
| 工事名称 | |
| 工事場所 | |
| 工期 | |
| 施設規模 | |
| 発注者 | |
| 基本設計・工事監理 (DBアドバイザー) | |
| 実施設計・施工 | |

進捗状況

2017年2月 液状化対策工事及び本...

航空写真(南東から)

現場前景(北東から)

オリンピック・パラリンピック 準備局

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

取組体制

オリンピック・パラリンピック準備局
自律改革PT
(局長、次長、理事、各部ライン部長)

局全体の自律改革の進行管理、情報共有

各部

自律改革推進担当

部内の取組の進行管理、調整

すべての職員が参画し
取組を検討・実施

取組経過

平成28年9月5日～ 各部における検討

- ・自主点検の実施、取組の事項出し
- ・全職員を対象としたヒアリング

<平成28年9月12日 第1回局自律改革PT>

- ・局自律改革PTの設置

<平成28年9月14日 第2回局自律改革PT>

- ・自主点検の結果及び取組の検討内容を報告
- ・局の自律改革の取組を決定

<平成28年11月25日 第3回局自律改革PT>

- ・取組の進捗状況を報告

<平成29年2月27日 第4回局自律改革PT>

- ・自律改革トライアル月間の実施を決定

<平成29年3月13日 第5回局自律改革PT>

- ・トライアル月間の中間報告

<平成29年3月31日 第6回局自律改革PT>

- ・トライアル月間の取組報告
- ・平成28年度の自律改革の取組を総括

自律改革トライアル月間

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

当局の特徴

新たな取組

- ★ 56年ぶりのオリンピック・パラリンピック
- ★ 日本で初のラグビーワールドカップ

都民の高い関心

準備状況の問合せ

- ・「ボランティアをやりたい」「イベントに参加したい」

報道内容の問合せ

- ・大会に関する日々の報道を受けて都民から問い合わせ「記事の内容は本当なの？」

拡大する業務

組織の拡大

- ・H26 オリンピック・パラリンピック準備局発足
- ・毎年新たな部を設置し、拡大を続ける組織

職員の増加

- ・発足時 310人 ⇒ 732人

取組の方向性

積極的な情報公開

ホームページの充実

- ・都民ニーズに応じたコンテンツ
- ・リアルな情報公開

効果的な広報展開

都民やメディアへの情報発信

- ・タイムリーで丁寧なメディアへの説明
- ・民間を巻き込んだ取組や若手職員によるSNS活用

効率的な業務執行

全職員の参画による業務改善

- ・若手職員のアイデアを積極的に採用して改善を加速

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

積極的な情報公開(ホームページの充実)

状況・課題

- 都民からの問い合わせが多い
- 問い合わせに対して、局ホームページは十分対応できるものとはなっていない

都民のニーズ

- ボランティアなど**大会への参加方法**が知りたい
- 都が整備する**施設の状況**が知りたい
- 大会準備にどれくらいの**費用**がかかるのか知りたい
- **バリアフリー**にどう取り組むのか知りたい
- **イベント**の開催情報が知りたい
- **報道された内容**について詳しく知りたい



結果だけではなく、
検討過程の情報へのニーズが高い

取組内容

検討過程も含め、広く情報を公開
<局ホームページ>

✓各種会議の資料

- 四者協議
- 関係自治体等連絡協議会

✓議会の関係資料

- オリパラ特別委員会

✓競技会場の整備状況

- 海の森水上競技場の検討状況

✓大会準備に関する経費

- 大会準備に係る経費内訳と年度別推移

✓IOC・組織委員会関係資料

- 組織委員会の経費、収入
- 開催都市契約（近々公開）

<オープンデータカタログサイト>

✓競技会場の図面データ

取組の効果

- 問い合わせに対して丁寧な対応が可能となり、都民の納得を得られやすくなった

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効果的な広報(メディアへの情報発信)

状況・課題

- メディアが必要とする情報を適時適切に発信できていない
- 局の事業について十分にメディアに伝わっていない



情報をタイミングよく丁寧にメディアに伝えることで、都民へ効果的に情報発信ができる

メディアツアー

- 都庁記者クラブを対象として、都が整備する新規3施設(※)の予定地を巡るバスツアーを開催
- 現地にて、施設の概要、工事の状況、後利用の方向性を説明

【参加実績】 都庁記者クラブ 17社23名

(※)有明アリーナ、オリンピックアクアティクスセンター、海の森水上競技場

記者レク

都庁記者クラブへのレクを定期的に行う

【実施内容】

- リオ2016大会情報
- 経済波及効果
- 関係自治体等連絡協議会
- 新規恒久施設の施設運営計画



(メディアツアーの様子)



取組の効果

(記者の方からいただいた感想)

- 現場を見ることで初めてわかることがあった
- 詳しい説明と質疑により理解が深まった

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効果的な広報(都民への情報発信)

『TEAM BEYOND』

パラスポーツを盛り上げるためのファンサイト

状況・課題

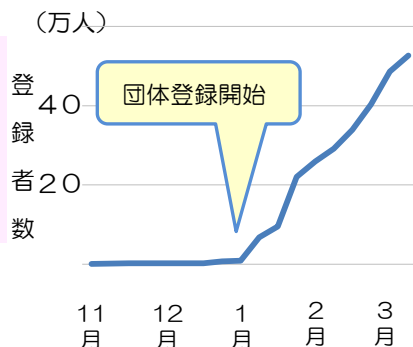
- 潜在的なニーズに届いていなかった
- 登録方法が複雑だった



取組内容

- 個人登録に加え、団体登録を開始
- 企業等をターゲットとして職員が営業活動を実施
- 各種イベントやメディアと連携したPRを展開

【登録者数】※H29.3.31現在
 個人 11,102人
 団体 517,731人(112団体)
計 528,833人



取組の効果

- パラスポーツを応援する企業をはじめ、民間を巻き込み連携していく系口が生まれた
- 登録団体の中から、個人としてもパラスポーツを応援してくれる人が増加

『スポーツTokyoインフォメーション』

都のスポーツ情報を発信するポータルサイト・SNS

状況・課題

告知などの情報提供のみで話題性がなく、スポーツの魅力が十分に発信されていない

取組内容

若手職員が広報マンとなり、自らのアイディアで発信内容を企画し、Twitterで情報発信を行う

<広報マンのある1日>

AM 職場にて



【ゆりーとからクイズ!】

今日はホワイトデーですが、ラグビーにとってメモリアルな日でもあります。何の日でしょう…?

2019年9月20日にラグビーワールドカップ2019の開会式・開幕戦まで、今日であと920日!

昼休みに



【職員の開脚挑戦】

毎日約5分のストレッチを欠かさず、11日目。継続は力なり!

PM 出張にて



【大会の実況中継】

女子のレース中です! 速すぎる!

【大会報告】

大会が終了いたしました! 観戦にお越しいただいたみなさん、ありがとうございました!

取組の効果

若手の感性で魅力的な発信内容に変化

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効率的な業務執行(若手職員のアイデアを具体化)

状況・課題

- ・組織の拡大により、継続的かつ組織一丸となった業務改善が図りづらい
- ・業務の拡大により、職員がライフ・ワーク・バランスに取り組みづらい

若手から始めるアイデア発掘

若手職員による発掘作業

- ・全ての部から若手職員が参加し、発掘チームを結成
- ・活発な議論で自律改革の種となるアイデアを発掘

【実績】

| | |
|-------|------|
| 第1チーム | 10名 |
| 第2チーム | 9名 |
| 第3チーム | 9名 |
| <hr/> | |
| | 計28名 |

63個のアイデアを発掘!

会議資料のペーパーレス化 プレミアムフライデー・マイ定時退庁日の設定
ポータルサイトの充実・活用 会議回数・出席者の削減
コールセンターの設置 他部署職員との交流 などなど

幹部職員との意見交換

- ・局長をはじめとした幹部職員と若手職員がアイデアを基に意見交換を実施
- ・幹部職員の持つ知識や経験で種に水やりし、アイデアを芽吹かせる

【実績】

| | |
|------|--------|
| 意見交換 | 全5回実施 |
| 若手職員 | 計37名参加 |



(発掘チームの様子)



(幹部職員との意見交換の様子)

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効率的な業務執行(若手職員のアイデアを具体化)

局をあげてのペーパーレス化

- ・局長室から実施することで、各部へもペーパーレス化を波及
- ・全ての部にプロジェクターを設置拡大
- ・各部対抗でペーパーレス実施率を競う『ペーパーレース!』を開催
- ・局一丸となって、ペーパーレス化を推進

取組の効果

- ・局議会对策会議は**100%**達成! ※一年間換算で約43万枚の削減効果
- ・その他のブリーフィングは**50%以上**実施!



(ペーパーレスブリーフィングの様子)

『見える化』によるライフ・ワーク・バランスの推進

かえるタグ運動

- ・職員が『かえるタグ』を掲示し、休みの予定を『見える化』
- ・休みやすい、帰りやすい職場環境をつくりだす



(かえるタグ)

- ✓オンとオフを切りかえる!
- ✓早くかえる!
- ✓働き方をかえる!

プレミアムフライデーを活用した休暇取得促進

- ・月末だけではなく、毎週金曜日をプレミアムフライデーとして設定
- ・業務の都合に応じて、職員の自由な選択を可能とし、取得を促進

取組の効果

- 取得率 **56.5%** ※総務部のトライアル
- ・組織的に推奨したことで帰りやすい雰囲気醸成
 - ・『見える化』で周囲の職員の理解促進



(「かえるタグ」を自席に掲示)

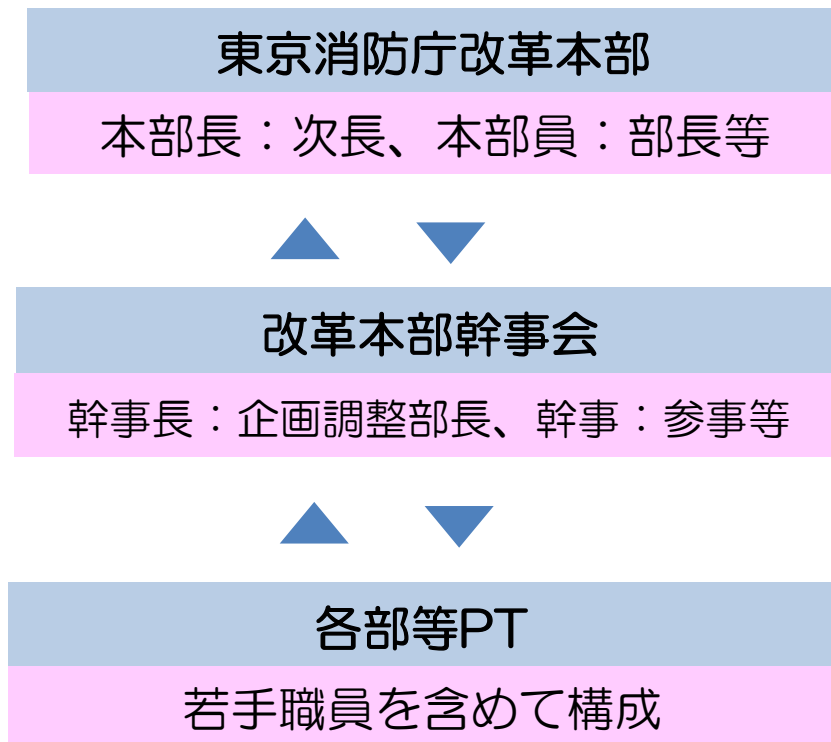
東京消防庁

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

取組方針

- 都政改革の3つの原則「都民ファースト」、「情報公開」、「賢い支出」を踏まえた従来の施策の検証と再構築を図る
- 都民の声及び女性、若手職員を含めた現場の声を改革につなげる仕組みの構築
- 若手職員の意見の積極的な活用を契機とした全職員の改革マインドの醸成

改革を推進する体制



新たな仕組み

- ◆ 若手意見・提言窓口
- ◆ 自律改革に成果のあった消防署の表彰

改善した従来の仕組み

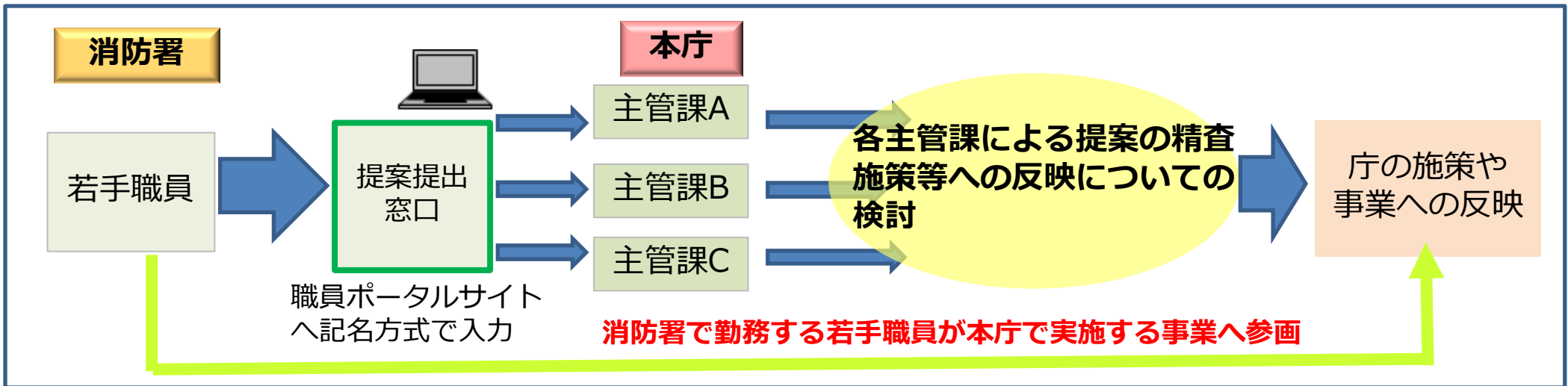
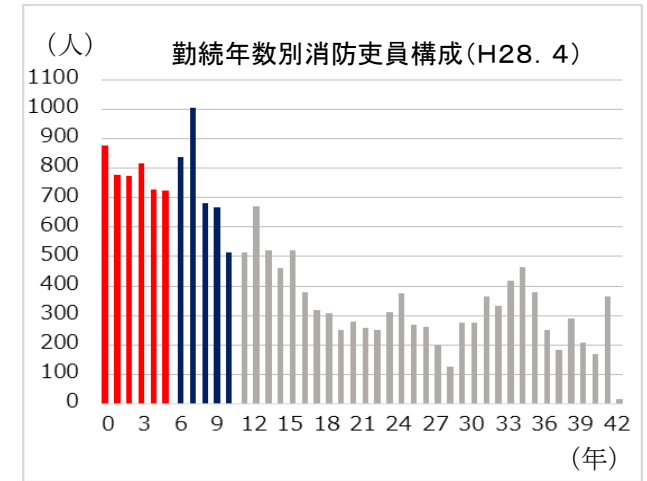
- 【職員からの意見を把握する仕組み】
 - ◆ 消防職員委員会
 - ◆ 消防事務監査
- 【都民の声を把握する仕組み】
 - 広聴（都民の声）結果の公表
 - 消防に関する世論調査・インターネット調査の質問内容等を改善

平成28年10月4日に東京消防庁改革本部及び同幹事会を設置し、年度内に計12回の会議を実施

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

若手意見・提言窓口の新設

- 当庁の職員構成は、採用後5年以内の職員が全体の約25%、**10年以内の職員が約45%**を占める。
- 約半数を占める若手職員は、現場活動を行う消防署で勤務しており、本庁には現場経験を積んだ中堅職員が多い。
- 現場で活動する若手職員の新たな視点による意見を施策に反映させることで、より都民ニーズに即した効果的な政策展開が可能になるのではないか。



- 平成29年4月1日から試行
- 提出された提案等については、本庁各主管課が施策や事業の参考とし、効果が期待できると判断した場合は積極的に活用を図るとともに、必要に応じて**意見提出者を本庁で実施する事業に参画**させることで**若手職員の職務意欲向上**及び**組織の活性化**につなげる。

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

自律改革に成果のあった消防署の表彰

自律改革への取組を消防署においても推進し、**改革マインドを全庁的に醸成**する必要がある。

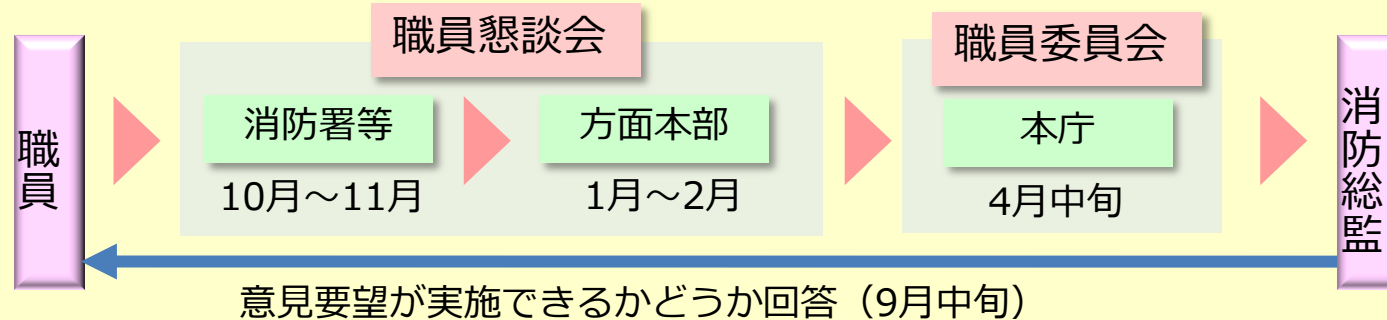
今年度から業務改善や事務の効率化など、**自律改革の取組が顕著**な消防署を**新たに表彰**



改善した従来の仕組み

消防職員委員会

消防職員には団結権が認められていないことから、消防組織法に基づく消防職員委員会を設置し、職員の処遇や職場環境に関する意見を求めている。



改善・見直した内容

職員の意見が通年で提出できるように改善する。

消防事務監査

消防署の業務執行状況等を調査し、改善方策を検討することにより、効率的な消防行政運営に資することを目的として実施。主に中堅職員へのヒアリングを実施していた。

若手職員へのヒアリングを導入し、意見を改善方策等へ反映

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

主な取組事例 I -①: 女性活躍の推進(消防吏員)

現状

- 全国の女性消防吏員の割合は2.5%で、東京消防庁は全国トップ
- 当庁では、昭和47年に女性消防吏員の採用を始めて以降、段階的に職域を拡大し、全体の**6.4%**にあたる1,192名が在籍。救急隊やポンプ隊等において活躍している。
- 今後、女性消防吏員の比率倍増(12%)を目指す。



女性救急隊員

課題

- 消防業務について女性の理解を促進し、応募者を増加させる
- 女性消防吏員が働きやすいハード・ソフト両面の環境整備
- 女性消防吏員の活躍促進に向けたキャリア形成支援

取組内容

■採用試験応募者への業務理解の促進

- 女子大学等主催の学内企業説明会において業務説明を実施
- 今年度の採用試験応募者が前年比**26.4%増**(速報値)

■女性が働きやすい環境の整備

- 女性職員の更なる活躍を推進する委員会や消防庁舎のあり方に関する検討会の構成員に現場で活躍する女性職員を加え、女性の視点による意見を取り入れている。
- 現場で活動する女性消防吏員の体力的補完を図るため、装着型パワーアシストロボット等の検証を行った。

■女性職員のキャリア形成支援

- 消防学校において、女性職員に対し、現場で活躍する**女性の先輩職員**や**管理職**による講義を実施
- 育児休業中の職員が職場復帰前の不安を払しょくするため、業務に関する研修を**聴講できる体制**や育児休業から職場復帰後に**救急隊員として乗務する前の補充教育体制**を整備



装着型パワーアシストロボットの検証実験

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

主な取組事例 I -②: 女性活躍の推進(消防団員)

現状

- 特別区の消防団員数は、13,865名(充足率86.7%)であり、女性消防団員数は**17.5%**にあたる2,425名が在籍
- 全国の消防団員に占める女性の割合は、**2.8%**であり、特別区は全国でもトップクラス

課題

- 女性を含めた消防団員数の増加に向けた効果的な募集広報・方策の推進
- 女性や学生等のライフスタイルに応じた活動環境の整備

取組内容

- 人員輸送車の更新に伴い、広く都民に対し女性消防団員の活躍を周知するため、ラッピングバスのデザインについて検討を行い、女性消防団員を前面に出したラッピングバスの運用を平成29年3月から開始した。
- 女性や学生等の対象に合わせた募集広報を実施する。
- 女性や学生等の生活や能力に応じて活動できる環境を整備する。



活躍する女性消防団員



ラッピングバス
平成29年3月から運用開始

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

主な取組内容Ⅱ-①:首都直下地震を踏まえた地域防災力の向上

現状

- 防火防災訓練参加者年間200万人の目標を設定。平成28年度の訓練参加者は約**242万人**(速報値)
- **まちかど防災訓練車**を活用し、少人数・近所・短時間のまちかど防災訓練を推進
- 長周期地震動の危険性を周知するため、画面と連動して座席が動く**自走式地震動シミュレーター**を活用した室内安全対策を促進



まちかど防災訓練車
(平成29年1月から運用開始)

課題

- 防火防災訓練を実施していない町会・自治会、地域の解消
- 防火防災訓練に参加したことがない都民、防災に関心の低い都民の取り込み



地震動シミュレーター

取組内容

■現場の声の収集・活用

- 平成28年度の消防事務監査で防災訓練を担当する若手職員へのヒアリングを実施
- ヒアリングでは、「訓練に参加するのは**いつも同じ人で訓練内容もマンネリ化**しているのではないか」、「起震車の地震体験だけでなく、**最新技術を導入し、よりリアルな体験ができないか**」といった意見が出た。

東京消防庁における自律改革の取組<状況報告>

主な取組内容Ⅱ-②: 首都直下地震を踏まえた地域防災力の向上

■火災予防審議会（地震対策部会）の提言

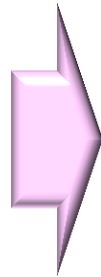
- ① 訓練未参加者に、訓練の必要性を「**知ってもらおう**」対策
- ② 訓練に参加できる環境を整えて「**参加してもらおう**」対策
- ③ 訓練参加者には、訓練の参加を「**続けてもらおう**」対策



- ✓ 魅力を感じる訓練
- ✓ 参加意欲が高まる訓練



起震車



バーチャルリアリティ(VR)防災体験車(イメージ図)

当庁が保有する2台の起震車のうち、1台を**バーチャルリアリティ(VR)防災体験車**として整備する。

- スケジュール
平成29年7月頃製作開始
平成30年3月頃完成予定



モーションシート:

災害の煙、臭い、振動等を再現
ヘッドマウントディスプレイの映像と組み合わせることで、各種災害をリアルに疑似体験できる。



ヘッドマウントディスプレイ

交 通 局

交通局における自律改革の取組<状況報告>

取組方針

基本的な考え方

= 経営理念 =

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心を何よりも大切に、東京の都市活動や都民生活を支えています。

- ・「都民ファースト」「情報公開」「ワイズ・スペンディング」の3原則に照らし、
- ・交通局の経営理念である都民やお客様からの「信頼」「支持」を、これからも獲得していくために、
- ・都民やお客様の目線に立って自律改革に取り組み、安全・安心の確保を最優先に、更なるサービス向上につなげていく。

自律改革の視点

「東京都交通局経営計画2016」を推進するにあたり、各職場における以下の自律改革の視点を醸成

■ 都民ファースト

- ・第一線の現場を持つ特性を活かし、お客様のニーズを的確に把握して事業に反映

■ 情報公開

- ・ホームページやSNS等を活用し、お客様の求める情報をわかりやすく積極的に発信

■ ワイズ・スペンディング

- ・公営企業として経済性を発揮しながら、都の施策と積極的に連携
- ・現場・若手等の問題意識を吸い上げ、不断の業務改善を図っていくことで、経営効率化を推進

自律改革の進め方

各職場が自らの業務を点検し、すぐにできる業務改善を迅速に実施
→ 自律改革の視点を組織に浸透させ、局内の改革気運をさらに醸成

○課題の認識

- ・お客様の声を活かした事業改善
- ・お客様ニーズを捉えた情報発信
- ・経営情報の更なる公開
- ・若手職員の積極的活用
- ・技術力の向上・継承

など

○業務改善の取組

- ・お客様の声の収集を強化
- ・経営情報の「見える化」を推進
- ・局課題解決に向けた若手PTの設置
- ・ヒヤリハット事例の体系的整理

など

■事業運営の更なる発展

- ・若手や現場の職員も含めた一人ひとりの改革の視点を活かし新しい施策を検討・実施

改革の流れを加速し、取組をレベルアップ

交通局における自律改革の取組<状況報告>

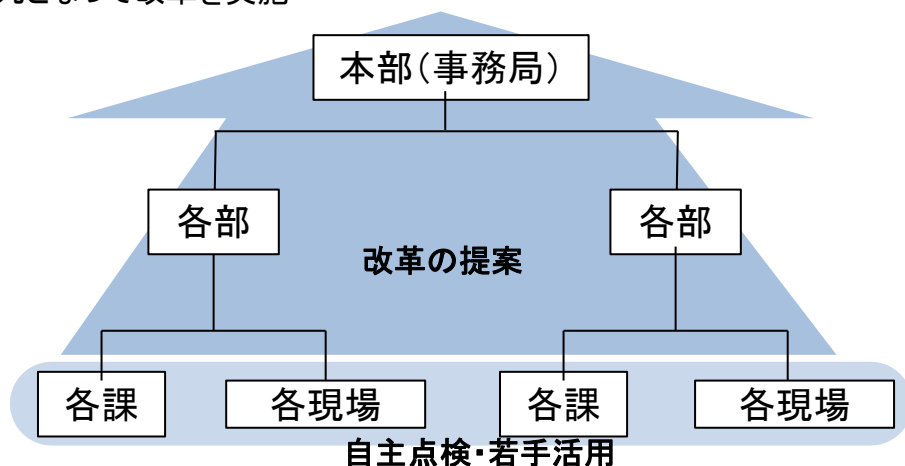
取組体制

- 9月以降、各職場が自律改革の視点から業務を再点検
 - ・既存の会議体においても新たな観点から検討事項を追加し、改革の議論を加速
- 課題に応じて新規のPTを設置
 - ・若手職員を多くメンバーに採用し、問題意識・アイデアを活用
- その結果、改革の気運が高まり、具体的な事業の改善に発展

| 月 | 自律改革の動き |
|-----|---|
| 9月 | ・局内で業務の自主点検を開始 |
| 10月 | ・若手の積極的な活用について局内通知 ・ バス路線別収支公表 |
| 11月 | ・ デジタルサイネージに関するモニター調査を実施 ・施策等の自主点検、評価の実施 |
| 12月 | ・サービス推進本部会議の開催(サービス推進活動の発信強化を検討) |
| 1月 | ・ 指標を用いた他都市との比較分析結果を公表 |
| 2月 | ・若手職員の功績を表彰する表彰制度の新設を審議 |
| 3月 | ・若手PTの企画による「さよなら7000形記念バス」を運行 |

ボトムアップ型

局事業の根幹である「安全・安心」「サービス向上」等については、**各職場での自主点検や若手の考えを積極的に採用することにより、局一丸となって改革を実施**

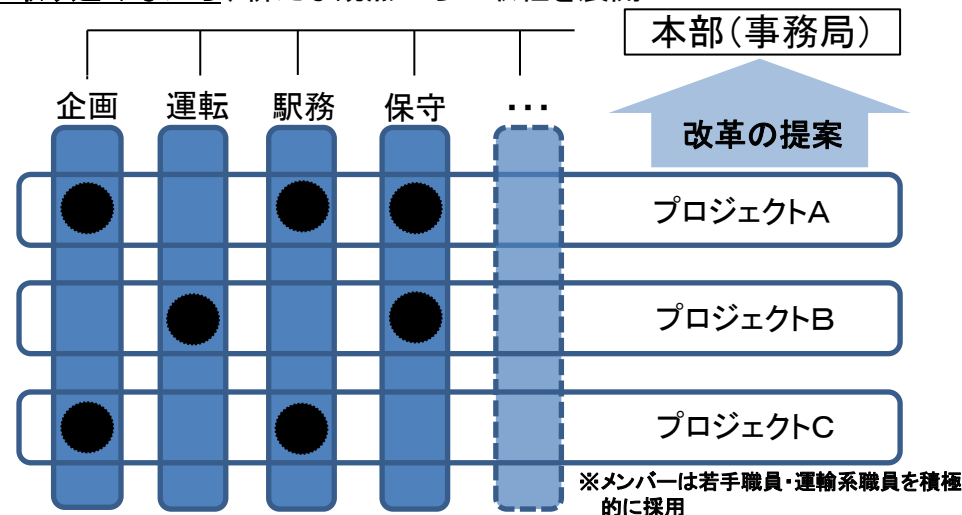


■実施例

- ・サービス推進本部会議
 - 各現場がお客様目線でサービスを改善し、本部会議で局内に展開
 - 自律改革を機にサービス推進活動の発信強化を新たに検討**
- ・安全対策推進委員会
 - 現場の問題意識を吸い上げながら、継続的な改善を実施
 - 現場職員を中心に、職場を横断してヒヤリハット事例を体系的に整理**

タスクフォース型

所属横断的な対応が必要な課題は、**各PT等で若手や現場の意見を積極的に取り込みながら、新たな観点からの取組を展開**



■実施例

- ・荒川線アピールPT
 - 入都5年以内の職員を中心に、都電荒川線の活性化方法を検討
- ・**車両・設備の安全性・信頼性向上PT(新設)**
 - 若手が参加し、過去の輸送障害事例や緊急時の対応を分析
- ・**「旅客誘致の強化」検討会(新設)**
 - 20代の職員を中心に、新しい情報発信手段、グッズ販売方法等を検討

交通局における自律改革の取組<状況報告>

お客様の声を活かしたサービス改善

モニター調査の更なる有効活用

概要

バス案内サイネージについて多言語表示のデザインを検討

自律改革を契機に、現場職員の意見を積極的に収集

※ 駅職員の実体験より意見

「日本人と外国人の視点や感覚は異なるため、検討の際にはできるだけ外国人本人にご意見を伺うべき」

駅職員の実体験を活かし、検討中のデザイン案を外国人本人に見ていただく方法を検討

具体的な取組

外国人モニター（H27から設置）を活用して意見を聴取

【頂いたご意見】

- 誰もが理解しやすいピクトグラムを入れてほしい
- 日英表記は同時に見られた方が良い
- 地図をタッチして拡大できる機能をつけて欲しい

➡ 頂いたご意見をもとに仕様を改善
(H29年4月以降、順次設置)

検討中のサイネージ画面



現地ツアー後の意見交換会の様子



交通局における自律改革の取組<状況報告>

現場の声を活かしたサービス改善

タブレット端末の有効活用

概要

地下鉄駅でタブレット端末を活用し、きめ細かなご案内を実施中

自律改革を契機に、更なる有効活用を現場職員から提案

現場職員からのアイデア

・運転見合わせ時等の案内を事前登録し、多言語で迅速に放送

➡ 外国人のお客様案内を更にきめ細かに

・故障箇所等の写真を撮影し、即座に情報を共有

➡ お客様案内等の対応をスピードアップ

・マニュアル等の電子データ化

➡ 故障現場でマニュアル等を確認し、業務に活用

➡ **上記アイデアをH29年4月から実施**

今後の取組(その他のアイデア)

・保守作業映像をリアルタイムで共有し、遠隔から作業指示

・現場作業の際、ベテラン職員の作業動画をタブレットで確認

➡ **具体化に向けて、局内で検討を重ねていく**

現在のタブレット使用例



輸送障害時等のタブレットによる多言語放送

① カテゴリを選択

② リストから案内文を作成

③ 多言語で放送

The screenshot shows a tablet application with two main screens. The first screen, titled '運行トラブル' (Operation Trouble), has a purple header and a list of categories: '運転見合わせ' (Service Suspension), '再開見通し' (Resumption Forecast), '接近放送' (Approach Broadcast), '遅延運転' (Delayed Operation), '通常運転復帰' (Normal Operation Resumption), and '非常常運行' (Special Operation). A hand icon points to the '接近放送' button. The second screen, titled '【トラブル発生・運転見合わせ】大江戸線' (Trouble Occurrence/Service Suspension -大江戸線), has a white header and a form for creating an announcement. It includes fields for '時' (Time) set to 11時, '分' (Minute) set to 0分, '事故発生駅名' (Accident Occurrence Station Name) set to 飯田橋駅, and '事故種別' (Accident Type) set to 急病人 (Sick Passenger). There are also language selection buttons for Japanese, English, Chinese, and Korean. A play button and a '再生する' (Play) button are visible at the bottom right. A small text box at the bottom of the second screen reads: '11時00分頃、都営大江戸線 飯田橋駅で急病人が発生しました。都営線地下鉄全線は運転を見合わせています。' (Around 11:00, an emergency patient occurred at Iidabashi Station on the Toei Oedo Line. All subway lines on the Toei Line have stopped service.)

交通局における自律改革の取組<状況報告>

情報公開の更なる拡充

情報公開の進め方

- 自律改革を契機として、他政令市が経営する交通事業と都営交通を比較し、経営に関する情報等の公開状況を検証
- これまで公表していなかった経営情報についても、透明性を確保する観点から、わかりやすく発信

主な取組

経営状況の「見える化」推進

➤ 局内の議論

- ・財務諸表だけでは経営状況がよくわからないのではないか
- ・他都市との比較数値も掲載するなど工夫が必要ではないか
- ・経営の厳しい事業は現状を伝えていくべき

➔ 経営の状況を都民やお客様にわかりやすく伝えるため、指標を用いた他都市との比較分析を公表

バスの路線別収支の公表

➤ 局内の議論

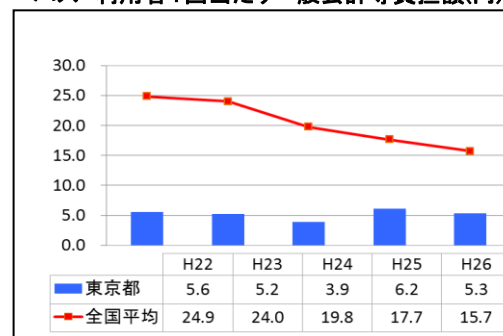
- ・他都市で公表しているのだから積極的に公開すべき
- ・路線の新規参入が自由化された状況で、路線別収支の公表は一定のリスクがあるのではないか

➔ バス事業に関する都民の理解を深めていくとともに、経営の透明性を一層高めていく観点から公表を決定

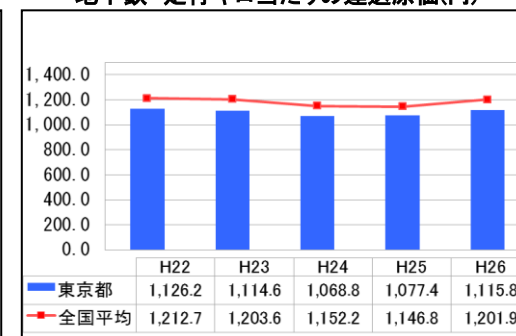
➔ 今後とも工夫を重ねながら、都民やお客様にわかりやすく経営情報等を発信していく

○分析例

バス 利用者1回当たり一般会計等負担額(円)



地下鉄 走行キロ当たりの運送原価(円)



※棒グラフが都営交通 折れ線グラフが全国平均

○平成27年度バス路線別収支(抜粋)

| 系統番号 | 主な運行区間 | 収入 | 支出 | 損益 | 額乗車料収入 千円/日 | 乗車人員 人/日 | 営業係数 |
|------|-------------------------|-----------|---------|---------|----------------|-------------|------|
| | | 千円 | 千円 | | | | |
| AL01 | 東大島駅前～(小松川二丁目循環)～東大島駅前 | 13,860 | 24,625 | -10,766 | 49 | 487 | 178 |
| CH01 | 新宿駅西口～(都庁第一本庁舎循環)～新宿駅西口 | 31,421 | 39,424 | -8,003 | 79 | 467 | 125 |
| FL01 | 葛西駅前～錦糸町駅前 | 17,276 | 22,233 | -4,957 | 130 | 916 | 129 |
| RH01 | 渋谷駅前～六本木ヒルズ | 67,401 | 98,230 | -30,829 | 163 | 863 | 146 |
| S-1 | 東京駅丸の内北口～錦糸町駅前 | 90,283 | 137,888 | -47,605 | 219 | 1,633 | 153 |
| 都01 | 渋谷駅前～新橋駅前 | 1,070,712 | 960,337 | 110,375 | 2,659 | 14,934 | 90 |

交通局における自律改革の取組<状況報告>

若手の問題意識やアイデアの積極的な活用

荒川線アピールPTの活用

概要

都電最盛期の主力車両であった「都電7000形」が、この春をもって引退

引退メモリアル企画の検討を「荒川線アピールPT」に依頼

<荒川線アピールPT>

局内若手職員を中心に構成、これまでPRポスターや新車イベント等を企画

PTでの意見

- ・都電の創業105年という歴史をアピールしたい
- ・かつて都電が走っていた銀座や日本橋でイベントを実施できないか
- ・都営バスに都電にちなんだラッピングを施して走らせてはどうか
- ・多くの方に当時を思い出していただけるような仕掛けをしたい

具体的な取組

PTでの検討の結果、銀座中央通りにて「記念ラッピングバス」を運行

☆バスの車内では、かつての都電を感じられる催しを実施

- ①車内バスガイド ②発車電鈴の再現 ③秘蔵写真や切符の展示
- ④アロマオイル「都電の香り」 ⑤地元商店街とのコラボスイーツプレゼント

※ 募集定員1,000名に対し、予想を大きく超える約5,000名の応募があった

銀座中央通り(日本橋)を走る都電7000形



都電7000形のラッピングを施した都営バス車両



➡ 今後とも、観光資源としての魅力にも磨きをかけ、積極的なPRを展開

水道局

水道局における自律改革の取組<状況報告>

1 自律点検・改革の目的及び視点

東京水道の5か年の事業計画である「東京水道経営プラン2016」を都民ファースト、情報公開、
ワイズ・スペンディングの視点から再検証

3つの視点

都民ファースト
情報公開
ワイズ・スペンディング

水道局の視点

- 事務事業の総点検なくして改革はできない
- 若手の参加なくして斬新な見直しはできない
- お客さまへ直接赴き、生の声を伺い、掘り下げる

点検

経営プランのコンセプト

根源的使命の維持・進化
(安定、高品質)

支える基盤

(人材(財)基盤、運営体制、財政基盤)

様々な脅威への備え
(新たな危機管理)

取組の進化・発信

(お客さまとの対話、地域・社会への貢献、
国内外水道事業体への貢献)

事業改革

事務改善

内部統制

実現

セーフシティ

ダイバーシティ

スマートシティ

東京2020大会への貢献

水道局における自律改革の取組<状況報告>

2 取組体制

課題の洗い出し

+

声の振り下げ

事務事業の

総点検

- 主に都民ファーストの視点から改革案を若手職員及びお客さまから募集（局内108課、若手職員約1,300名が参加）

809件

改革案の

検討

- 情報公開の視点から審査過程・審査結果を公表

取組案件

継続検討案件

ワーキンググループ

取組効果等、一定の基準に照らし、選出

377件

432件

- ・メンバー：課長級
- ・若手職員からのヒアリング

実現可能性等の観点から選出

分科会

改革案の審議

即座に実施可能な改革案

取組効果等の観点で課題があり、引続き検討する案件

- ・メンバー：本庁部長
- ・若手職員による発表

重要性等の観点から選出

本部会議

局として取り組んでいく改革提案を承認

同上

- ・メンバー：理事級及び部長級
- ・若手職員による発表
- ・公開で実施

再チャレンジ

取組案件の

実施

職場の状況に応じ、改革案を選択、採用

- ワイズ・スペンディングの視点を踏まえ、優先順位をつけて改革案に順次着手

改革案を取込み

主要計画の改定

主要計画の見直し

- 都民ファースト
 - 情報公開
 - ワイズ・スペンディング
- 3つの視点で見直し

計画・施策を総点検

水道局における自律改革の取組<状況報告>

3 改革提案の分類

- ・事業改革…多摩地区の小規模施設を使用した訓練
- ・事務改善…応急復旧対応でのSNSの活用
- ・内部統制…監理団体における新たな危機管理研修の実施

危機管理

- ・事業改革…多摩地区におけるサービスステーションの見直し
- ・事務改善…タブレット端末を利用したアクセシビリティの向上
- ・内部統制…監理団体との連携強化によるきめ細やかなお客さま対応

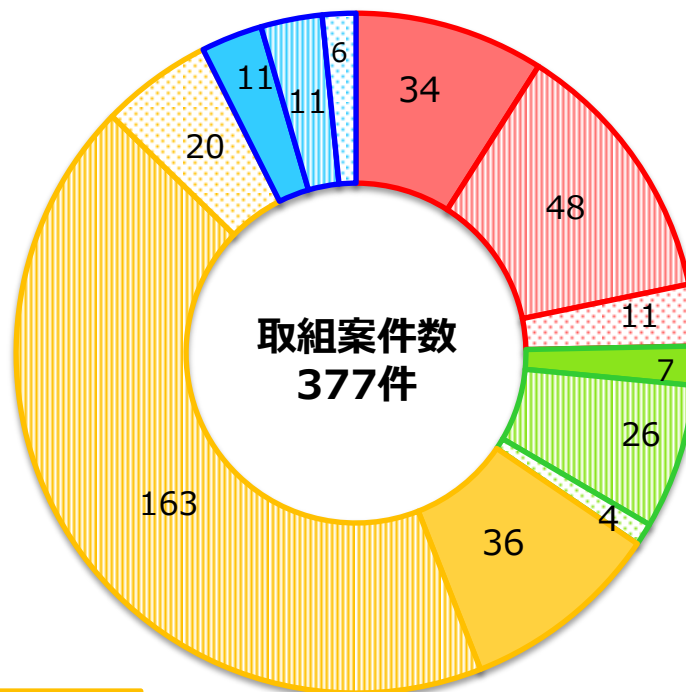
都民ファースト

ワイス・スペンディング

- ・事業改革…ポンプなどからの排水の有効利用
- ・事務改善…水質試験消耗品の有効活用
- ・内部統制…総合評価方式の適用基準の見直し

情報公開

- ・事業改革…貯水量情報の見える化
- ・事務改善…公有財産情報の台帳整備及びオープンデータ化
- ・内部統制…特命随意契約理由の検証



水道局における自律改革の取組<状況報告>

4 現場の取組① ～都民ファースト～

窓口サービスの改善 ～タブレット端末を活用したアクセシビリティの向上～

課題

営業所において、外国人のお客さまや高齢の方、障害をお持ちの方への対応がスムーズにやりとりできない場合有り

改善の取組

タブレット導入によりお客さま対応力を向上

- アプリケーションの機能により**多言語**(中国語、韓国語等31カ国語)**に対応**
- 筆談による対応が可能

改善のポイント

- 窓口で**すべての職員が様々なお客さまに対応可能**
- 水道専門用語の**外国語への正確な翻訳** (検証中)

葛飾営業所、あきる野サービスステーションでH29年3月から試行実施



▲ タブレット端末での説明(イメージ)

水道局における自律改革の取組<状況報告>

4 現場の取組② ～情報公開～

貯水量情報の見える化

課題

- ・現在、局のホームページに公表している多摩川水系の貯水量情報は、渇水時でも平日、1日1回の更新のみ
- ・昨年の渇水時に、迅速かつ詳細な貯水量情報を求める声が寄せられるなど、高い関心があるダムの貯水量について情報提供が不十分

改善の取組

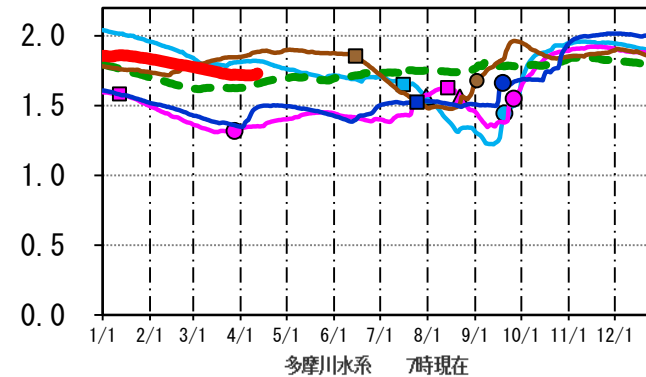
貯水量をより詳細に公表

- 土日を含め**毎日情報更新**
- 更新頻度を1日1回から**1時間ごとに更新**（検討中）

改善のポイント

お客さまが求めるリアルタイムの情報を提供可能とし渇水時の協力をより得やすくする

<現在の掲載情報>



| ダム名 | 貯水容量(万m ³) | 貯水量(万m ³) | 貯水率(%) | 前日増減(万m ³) |
|----------|------------------------|-----------------------|--------|------------------------|
| 小河内貯水池 | 18,540(18,540) | 15,940.4 | 86.0 | 3.9 |
| 村山・山口貯水池 | 3,435(3,258) | 2,737.7 | 79.7 | 17.5 |
| 以上合計 | 21,975(21,798) | 18,678.1 | 85.0 | 21.4 |
| 前年同日量 | | 17,423.5 | 79.3 | — |
| 前々年同日量 | | 19,122.5 | 87.0 | — |

<改善後の提供情報イメージ>

| 観測時刻 | 貯水量 | |
|-----------|-----------------|-------|
| | 万m ³ | 貯水率 % |
| 06/18 〇:〇 | 18,212 | 83.5 |
| 06/18 〇:〇 | 18,215 | 83.6 |
| 06/18 〇:〇 | 18,220 | 83.6 |
| 06/18 〇:〇 | 18,222 | 83.6 |
| 06/18 〇:〇 | 18,227 | 83.6 |
| 06/18 〇:〇 | 18,232 | 83.6 |
| 06/18 〇:〇 | 18,236 | 83.7 |

追加

1時間に1回更新検討

水道局における自律改革の取組<状況報告>

4 現場の取組③ ～ワズ・スポンディング～

ポンプなどからの排水の有効利用

課題

小規模な浄水所や給水所等では、ポンプや水質計器の運転に使用した水を再利用せず排水している

改善の取組

排水をミスト散布に利活用

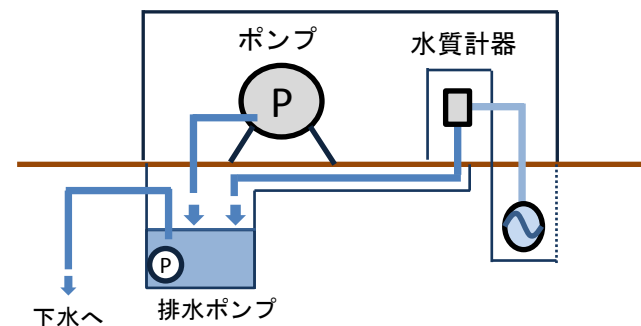
- 排水をミスト状にしてエアコンの室外機に散布 (検討中)
- 室外機の冷却効果を高めることで省エネルギー化

改善のポイント

- ・ 下水に流すための排水ポンプの残圧(余力)を利用し散布
- ・ 排水の有効利用と空調機の消費電力抑制が可能

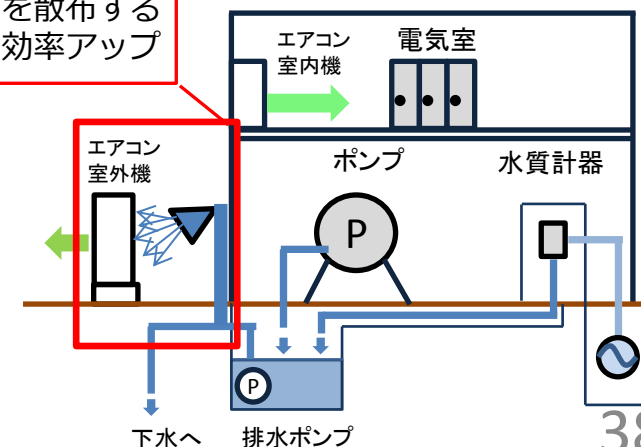
<排水の利活用イメージ>

【現状】



【改善】

ミストを散布することで効率アップ



水道局における自律改革の取組<状況報告>

4 現場の取組④ ～危機管理～

応急復旧対応でのSNSの活用

課題

発災時には、応急対策部署で調査班を編成し、現場調査を行うこととしているが、
応急復旧に住民情報を活用する仕組みが無い

改善の取組

SNSによりお客さまからの情報を活用

- **twitterを活用**することで、被害情報(漏水)をお客さま等から収集
- 漏水箇所や規模を**いち早く把握**し作業の効率性を向上

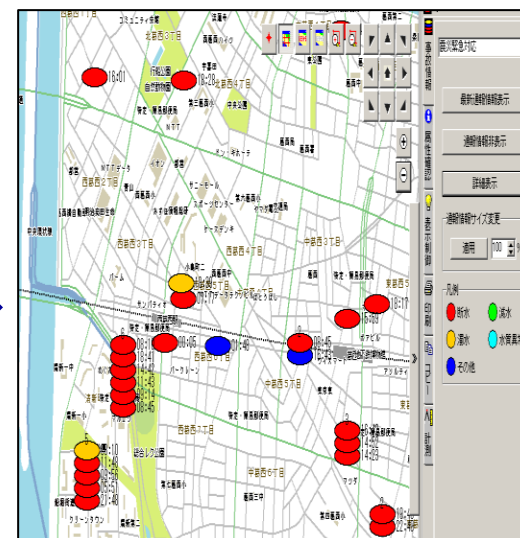
改善のポイント

お客さまからの情報を**局全体で共有**し、復旧作業を迅速化

H29年4月から開始



① お客さまが漏水の場所や規模の情報を投稿



② 投稿が反映された地図で状況を把握、復旧作業へ

水道局における自律改革の取組<状況報告>

4 現場の取組⑤ ～危機管理～

技術継承と国内水道事業者への発信 ～多摩地区の小規模施設を使用した訓練～

課題

- ・ 災害時には、職種の枠にとらわれない臨機応変な対応が必要
- ・ 一方、現在の研修は職務ごとで実施されており、担当や職種の枠を超えた知識・技術の継承が困難

改善の取組

職種を超えた現場力の育成

- 様々な職種の職員がそれぞれ持つノウハウを関係者全員で共有
- 研修施設ではなく、実際に稼働している施設の一部を使用することで、実践的な訓練を実施
(訓練時は当該施設からの配水への影響を遮断)

改善のポイント

取組を国内の他事業者へ広く紹介し、国内水道事業者全体のレベルアップへ貢献

H29年2月に訓練を実施



▲ 自家用発電設備を実際に稼働させ手順を確認



▲ 制水弁開閉車及びバルブ操作により通水を制御

下水道局

下水道局における自律改革の取組<状況報告>

取組体制

下水道局事業改革本部

取組案について審議

設置:平成28年9月1日

本部長:局長

本部員:技監、本部長、各部長

計14名

各部

各課

各事務所

若手・現場職員の意見を
吸い上げ

【局事業改革本部の開催状況】

| 開催日 | 主な審議内容 |
|-------------|---------------------------------------|
| 平成28年 9月 1日 | 局としてのキックオフ |
| 平成28年 9月12日 | 自律改革の取組内容について(中間まとめ) |
| 平成28年10月19日 | 自律改革の取組内容について |
| 平成28年11月11日 | 自律改革の進捗管理 「政策・施策・事務事業」の自主点検・評価について |
| 平成29年 3月10日 | 自律改革の進捗管理(年度末報告) |
| 平成29年 4月18日 | 事業ユニット分析等について |

提案された主な取組

(業務改善)

○改革を推進する職場づくり

局長と若手職員の意見交換、業務成果発表会の拡大

○東京下水道の「応援団」の獲得

大規模事業のPR、市町村参加型の「メールマガジン」の発行

(施策の自主点検・評価)

浸水対策の円滑な推進に向けた取組

下水道局における自律改革の取組<状況報告>

取組①局長と事業所若手職員との意見交換会の開催

【背景及び課題】

- 採用から5年以下の職員が3割を占める中、若手の問題意識を吸い上げ、局事業の見直し等に繋げていくことが必要
- 事業所の若手職員と局幹部職員とが意見交換できる機会が少ない
- 局幹部職員の考え方を直接確認することで、若手職員や現場のモチベーションを向上

【取組】

◆局長が各事業所を訪問し、若手職員との意見交換会を実施

【意見交換会の実施状況】

【若手職員の主な意見】

- 新人が新人の視点によるマニュアルを作成
- 業務に関し若手職員が相談しやすい体制整備
⇒若手職員の質問に対応する窓口を設置(平成29年4月)
- より効率的な執行に向けた事務分担の提案
⇒事務所の一部組織を再編し、業務分担を整理
- 維持管理業務に関するOJTや現場研修をさらに充実

そのほか、若手職員による現場説明や業務報告、若手職員の業務における悩みや、局長への質問など活発に意見交換

| 開催日 | 対象事務所等 |
|-------------|--------------|
| 平成28年 9月 7日 | 西部第一下水道事務所 |
| 平成28年 9月13日 | 第一基幹施設再構築事務所 |
| 平成28年 9月16日 | 北部下水道事務所 |
| 平成28年10月11日 | 南部下水道事務所 |
| 平成28年10月20日 | 西部第二下水道事務所 |
| 平成28年11月 4日 | 中部下水道事務所 |
| 平成28年11月25日 | 流域下水道本部 |
| 平成28年12月16日 | 東部第一下水道事務所 |
| 平成28年12月21日 | 第二基幹施設再構築事務所 |
| 平成29年 1月18日 | 森ヶ崎水再生センター |
| 平成29年 1月24日 | 東部第二下水道事務所 |

改革を実行する職場環境を醸成し、下水道サービスのさらなる向上に取り組んでいく。

下水道局における自律改革の取組<状況報告>

取組②東京下水道の見える化(1/4) <<「応援団」の獲得>>

【背景及び課題】

- 下水道の普及拡大時には水洗トイレが使えるようになったり、雨による浸水被害が減るなど、目に見える分かりやすい効果
- 普及が進んだ現在では、下水道は“あって当たり前”のものとなり、また、施設の多くが地下にあって見えにくいいため関心度は低下
- 老朽化した施設の再構築や浸水対策など、事業を着実に進めていくには、お客さまの理解と協力が不可欠
- 円滑な事業運営に向けて、これまでの見える化の取組に加え、事業の必要性や効果等について、より積極的な情報発信が必要

◆「見える化」から「見える化」へ

見える化

施設を中心として
下水道のしくみを見やすく

見える化

施設に加えて
役割や課題、魅力を
積極的に発信

お客さまに東京下水道の
応援団となっただく
ことで、事業を円滑かつ
着実に推進

下水道局における自律改革の取組<状況報告>

取組②東京下水道の見える化(2/4)

【取組】

- ハードとソフトの両面から東京下水道の「見える化」を推進する指針として「**東京下水道 見える化マスタープラン**」を策定(平成29年4月)
- 「見える化」の理念と3つの方針、7つの視点によって基本的な方向性を示し、取組を効果的に実施

《「見える化」マスタープラン3つの方針》

開く
OPEN

東京下水道を見やすく**オープン**にします

伝える
APPEAL

東京下水道のすばらしさや想いを**アピール**します

魅せる
PRODUCE

東京下水道の新たな魅力を**プロデュース**します



URL:http://www.gesui.metro.tokyo.jp/news/2017/0410_2479.html

- マスタープランを踏まえ、取組を具体的に進めていくための実施計画「**東京下水道 見える化アクションプラン**」を今年度中に策定

- アクションプラン策定に当たっては、若手・現場職員を含め局をあげた体制により、具体的な取組を検討



「東京下水道 知ってもらい隊」の名札を局職員全員が着用

下水道局における自律改革の取組<状況報告>

取組②東京下水道の見える化(3/4)

【事例1】

- ◆大規模事業「千代田幹線整備事業」について、局ホームページで情報発信
平成29年1月公開

【配信内容】

- 事業の目的
- 事業概要(位置図、施工方法など)
- 事業の特徴
- 事業の施工手順 など

若手職員がPR画面を作成



工事の進捗状況やその他の事項の追加など、
情報発信を充実

【事例2】

- ◆30市町村の下水道担当部局に向け、
2か月に1回メールマガジンを配信
平成28年12月配信開始

【配信内容】

- 予算・決算情報など経営分析に役立つ情報
- 新技術に関する情報
- 共通課題等の特集
- 市町村の取組の紹介 など

局職員と市町村職員が協力して、編集作業を実施

【メールマガジン表紙】



市町村と編集会議等を通じて意見交換し、
メールマガジンで発信する情報を更に充実

下水道局における自律改革の取組<状況報告>

取組②東京下水道の見える化(4/4)

【事例3】 ◆工事現場見学会の開催

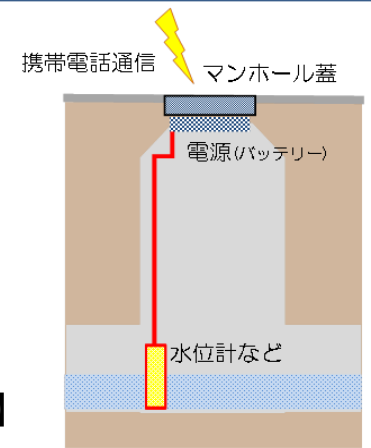
○普段目にする事が少ない下水道事業を積極的に発信するため、見学会等により、既存の下水道施設や工事現場を「見える化」



【第二溜池幹線現場見学会の様子】

【事例4】 ◆幹線水位情報の提供

○計測器、電源及び通信機能を内蔵させたマンホール蓋を用いることで、光ファイバーケーブルが敷設されていない箇所における管きよ内の水位などをリアルタイムに把握できる技術を開発



【多機能型マンホール蓋(イメージ)】

【事例5】 ◆東京アメッシュのスマートフォン対応

○スマートフォン対応を追加し、お客さまの利便性を向上

- ・操作のしやすさや、画面の見やすさが向上
- ・GPS機能により、現在地を表示
- ・東京を訪れる観光客などが現在地を容易に把握
- ・希望の2地点を登録可能



アイコン



QRコード

【スマートフォン版東京アメッシュ画像】 47